

名水の里整備事業

取り組みに至る背景・事業の目的

内山地区内に湧き出る龍興寺清水は、水源地からの川の清掃や施設整備を、区を挙げて行うなど、区民の手で大切に守られてきた。こうした地域の保全活動やその水質の良さが認められ、平成20年には「平成の名水百選」にも選ばれており、龍興寺清水の水汲み場は、村内外から毎日多くの人が水汲みに訪れる観光名所となっている。

同地区では、この地域資源を活用した「名水の里づくり」を進めるため、地域づくりの拠点となる水汲み場の改修を行うとともに、子ども達が水と親しむ親水公園を整備した。地域や訪れた人々との交流の場を創出し、名水の里「内山」の更なる活性化を目指す。

事業内容

○ 水汲み場の改修

龍興寺清水を象徴する龍の石像を設置するとともに、水汲みに訪れる人々による混雑を緩和するため、汲み口を増設した。利便性が高まったと、名水を求めて訪れる多くの観光客に喜ばれている。

○ 親水公園の整備

作業には、延べ190人の区民が参加。地域の子も達や訪れた人々が水と親しむ、親水公園を整備した。



【改修後の水汲み場】

事業効果

- 地区の地域づくりの拠点として整備した水汲み場には、1日平均100人の観光客が訪れ、親水公園とともに、訪れた人々との交流の場として地域に活気をもたらしている。
- 村においても、村内の「水巡り」スタンプラリーを実施し、観光名所としての活用に力を入れるとともに、名水を使った「名水火口そば」を新たな名物とするなど、住民の手で守られてきた名水は今や村の貴重な観光資源となっている。
- 平成21年度にはペットボトル製品としての配布、販売を始めており、「名水」を活用した地域活性化への取り組みはますます広がりを見せている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 地域資源を守る環境保全活動や区民手づくりの「龍興寺清水まつり」などを通じ、訪れた人々との交流を深めるとともに、次世代を担う子どもたちに地域資源の大切さを伝える取り組みを推進していく。
- 「名水」と地域の産業を結びつけた、「名水火口そば」や村内産の米のブランド化に向けた村の取り組みが本格化されてきており、地域活性化における「龍興寺清水」の果たす役割はますます大きいものになっている。

【選定のポイント】

地域資源を守る区民の地道な活動が、「名水」を活用した村の地域活性化事業へと発展している。

団体名	木島平村内山区（木島平村）	事業タイプ	ハード事業
連絡先	内山区長 萩原恵治	事業費	1,187,667円
	電話 0269-82-3053	支援金額	728,000円